

## 千代田区の伝承を未来に引き継ぐための「千代田区怪談お散歩マップ」プロジェクト －共立女子大学－

### 目的

かつて千代田区で語られていた在地の伝承を掘り起こして未来に継承するため、文献調査および実地踏査を行った上で散策地図を作製する。この地図を片手に千代田区を散策することで、現代の千代田区の風景や各種サービスを享受しつつ、かつて千代田区で生活していた人々の世界観を現代の現実世界に重層化(レイヤー化)し、前近代の千代田区が有していた豊穣なイメージの追体験を可能とする。いわば、バーチャルな江戸と令和の街とを同時に歩く試みである。

具体的には江戸期の隨筆を主な資料体とし、千代田区ゆかりの怪談奇談を、古地図および現代の地図にマッピングする。江戸隨筆などの古記録には、平将門の首塚をめぐる祟りや、堀端に出たという河童、昌平橋に出たという幽霊、鉢植えの土から出てきた鯉など、様々な怪談奇談が記録されている。

### 研究内容・結果

2024年4月以降、翌年3月に至るまで全18回の研究会を開催しつつ、別途、教員および学部生・大院生計10名のメンバーによる文献・地図調査、千代田区内の現地踏査(フィールドワーク)を重ねた。

最終的には2025年3月に、表表紙・裏表紙を含め全8頁(オールカラー)、A4版のパンフレットである「千代田区怪談お散歩マップ」を完成させた。本マップは共立女子大学、千代田区観光案内所をはじめとした千代田区内外の各所で配布中である。

また、上記マップを完成に導くため、2024年11月16日(土)には「千代田区怪談お散歩ツアー」と題して、千代田区内に在住、あるいは通勤・通学している方を中心に参加を募り、共立女子大学の学生ガイドによる数時間の散策ツアーを実施した。その際、参加者には「千代田区怪談お散歩マップ(仮)」を配布した上で、ツアーのコースやマップの内容についての意見を頂戴し、完成版の内容に反映させた。

2025年3月2日(日)には、学生を中心として、ちよだコミュニティラボライブ! 2025「まちの文化祭 1Day Fun Live@CHIYODA」内「大学連携 千代田学研究発表」での報告を行い、本マップ完成を前にした周知につとめた(於 千代田区役所 一階 区民ホール)。

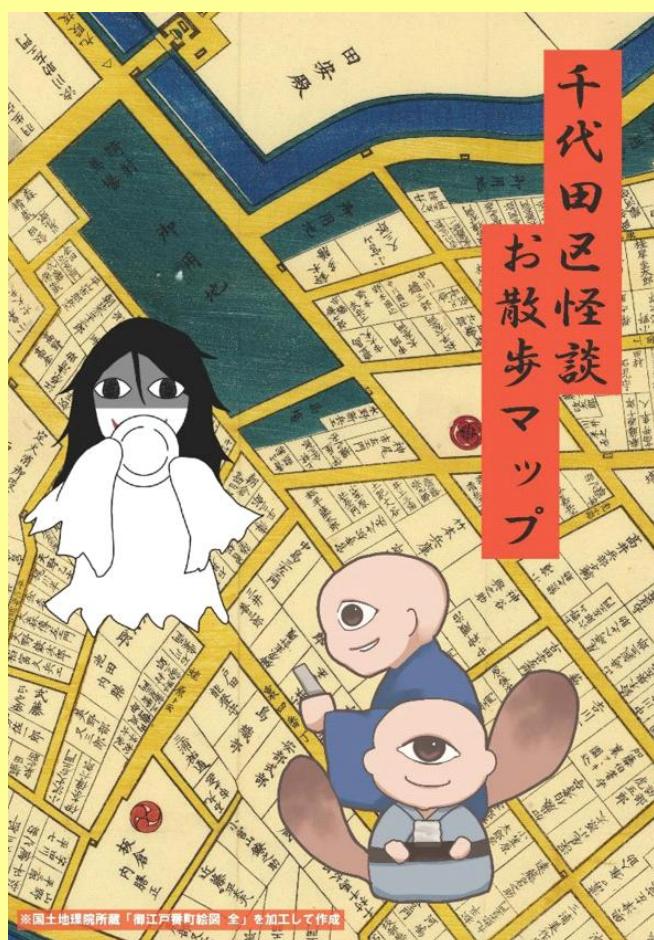


図1. 千代田区怪談お散歩マップ(表紙)



図2. お散歩ツアー(帯坂)



図3. お散歩ツアー(築土神社)

### 考察・まとめ

千代田区内の大学に通い、区内で学生生活を送る大学生たちの目線から、千代田区に眠っていた観光資源を有効活用するための道筋を作ることができた。

今後の課題としては、今回作成した紙媒体でのお散歩マップデータをもとにした、室内でも、持ち歩きでも楽しめるオンラインマップへのバージョンアップなどが考えられる。